

第4章 ふくいの経済・財政編

平成21年度の福井県の

経済成長率は、「△1.9%」

県内総生産は、「31,132億円」で、前年度より594億円減少

(ふくいの経済)



福井県の平成22年度の決算額は、

歳入は「5,106億円」で、前年度より0.2%減少

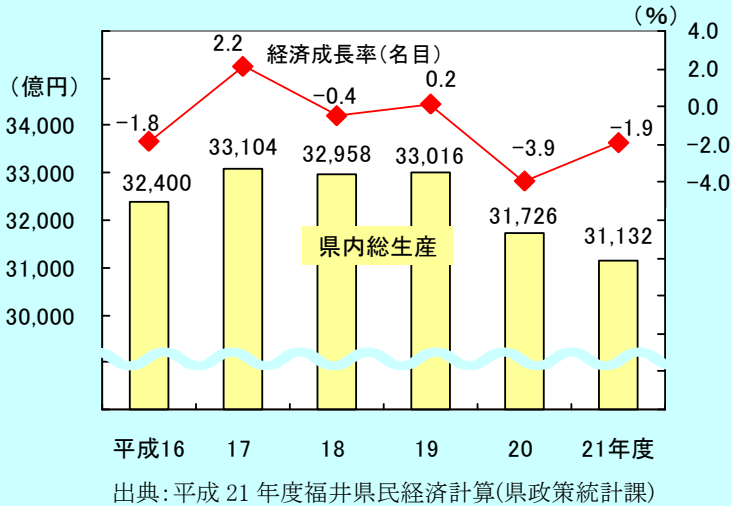
歳出は「5,041億円」で、前年度より0.4%減少

平成22年度の県税収入は、「907億円」で、前年度より2.3%減少

(ふくいの財政)

◎平成 21 年度の県内総生産と経済成長率

福井県の県内総生産、経済成長率（名目）の推移



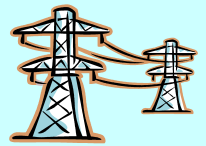
福井県の県内総生産*の動きを見てみよう。



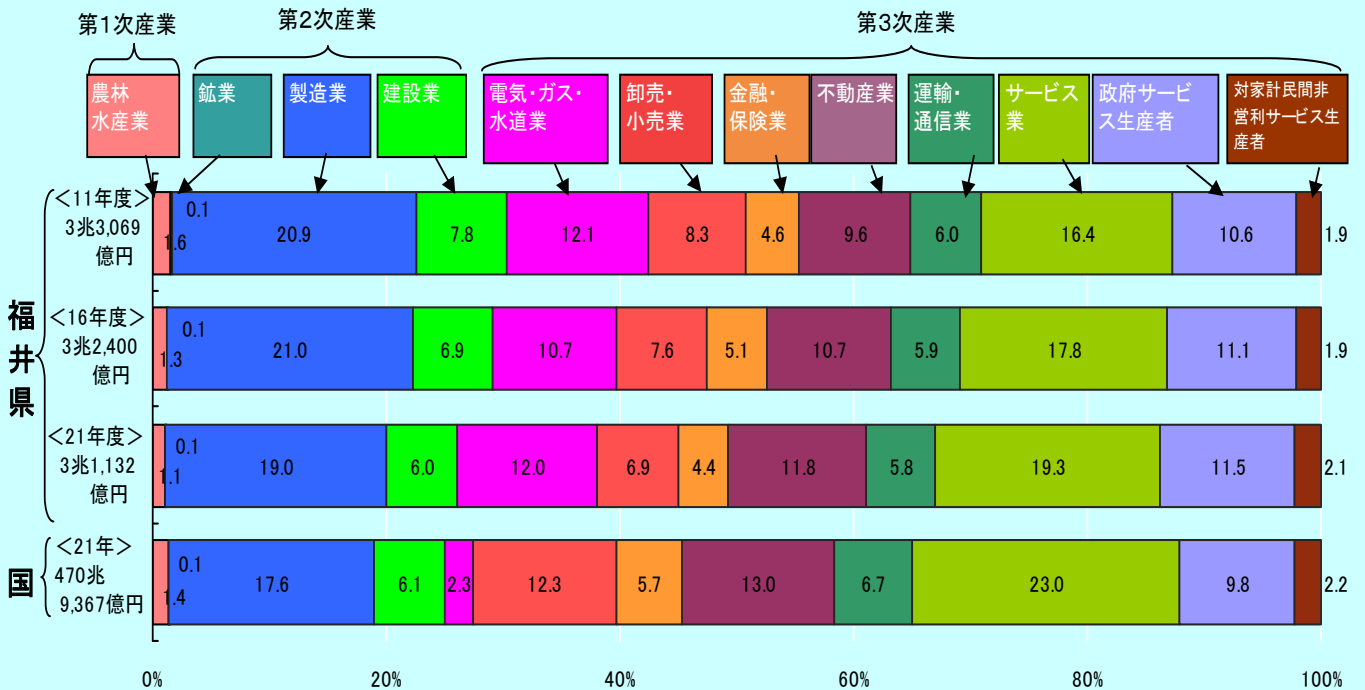
経済成長率(名目)は、どのように推移しているのかしら。

※県内総生産…県内の事業所で、1 年間に生産されたものの価値(生産されたものから原材料などを差し引いたもの)を金額に換算したもの。

◎福井県の県内総生産



福井県の県内総生産の産業別構成比



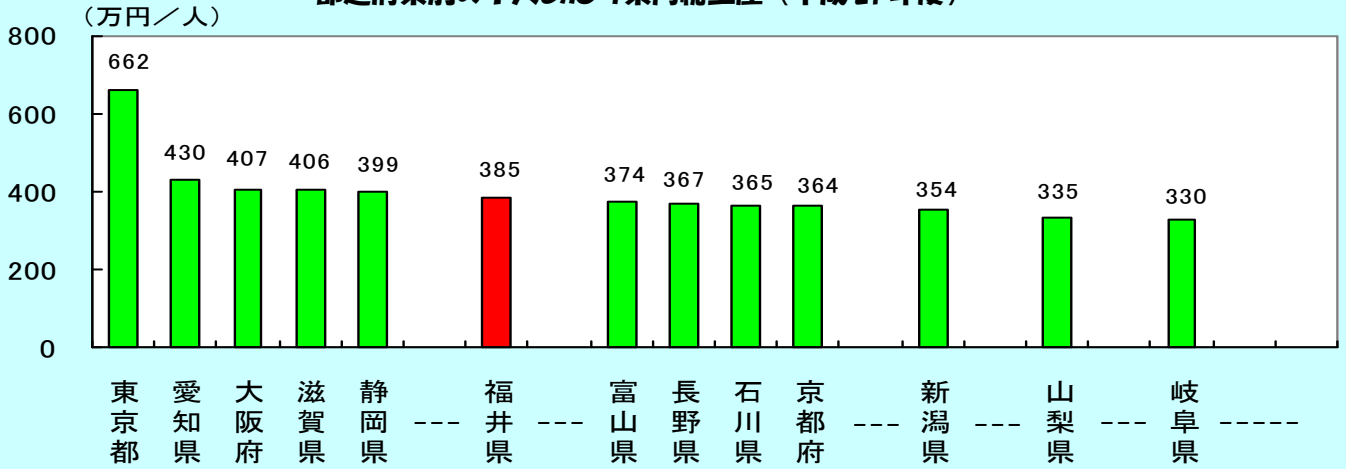
出典：平成 21 年度福井県民経済計算(県政策統計課)



福井県の特徴が表れているのはどんなところかしら。平成 11 年度から見てみると、どんなふうに変化しているかな。

◎県民1人あたり県内総生産

都道府県別の1人あたり県内総生産（平成21年度）



出典:平成21年度県民経済計算(内閣府)からの推計
総務省推計人口(平成21年10月1日現在)

※平成24年2月6日現在公表済みの都道府県数値から抜粋

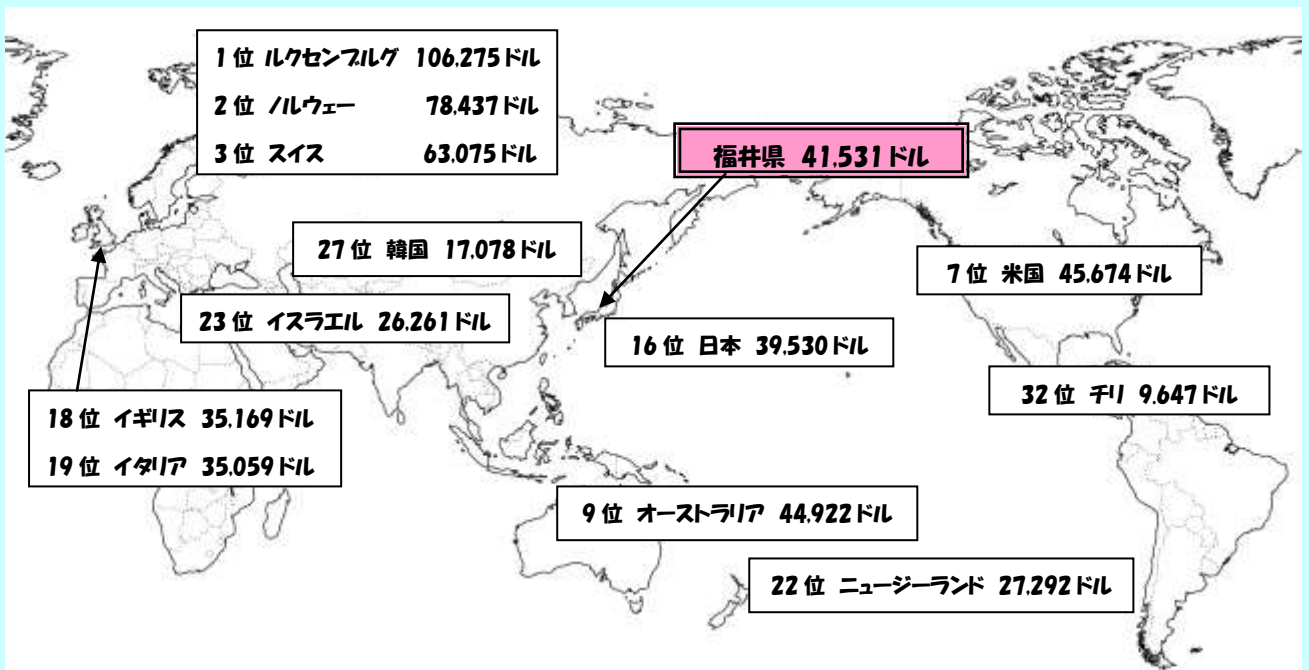


1人あたりの県内総生産を見ると、福井県は
全国でどのあたりの位置にあるかな。

<世界から見た福井県の位置(平成21年(度)一人あたり県(国)内総生産の比較)>

福井県の平成21年度1人あたり県内総生産(名目)をOECD諸国(「経済協力開発機構」、世界の先進国等34カ国が加盟)の1人あたり国内総生産と比較すると、福井県は41,531ドルで、12位のスウェーデン(43,404ドル)と13位のフランス(41,080ドル)の間に位置しています。

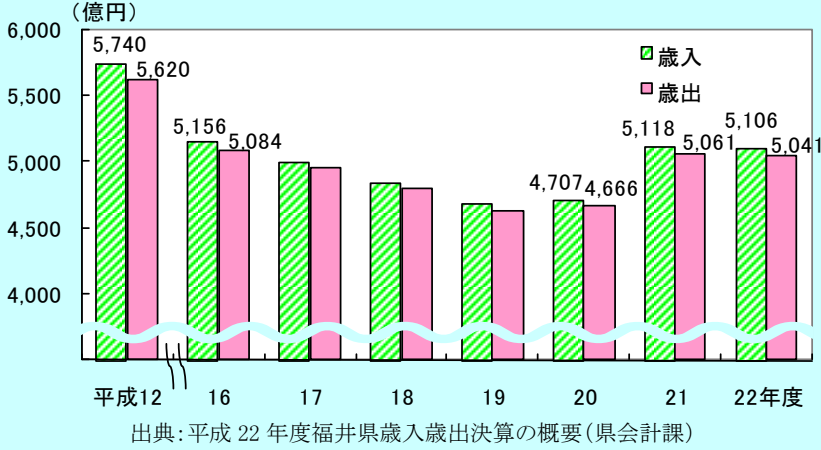
(各国は暦年、福井県は年度値。県の一人あたり県内総生産(ドル表示)は、1ドル=92.80円(21年度平均レート)で換算して推計)



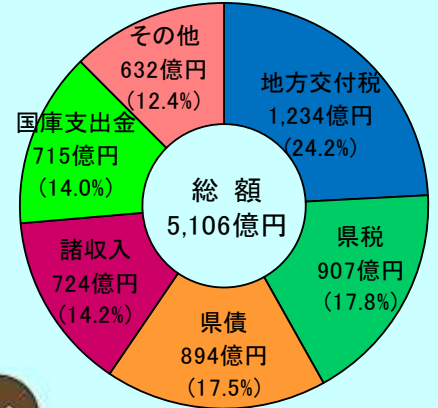
出典:平成23年版国民経済計算年報(内閣府)、平成21年度福井県民経済計算(県政策統計課)

◎福井県の歳入・歳出決算額

福井県の歳入・歳出決算額の推移(一般会計)



福井県の歳入の内訳(平成22年度)



県の決算額の動きは、この10年間でどう変わっているのかな。

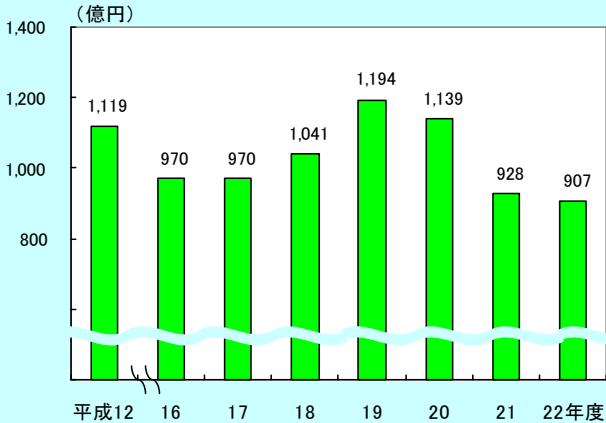
平成22年度決算額の内訳(歳出) ()は家計に置き換えた表現



県の予算では、どの分野で一番たくさんのお金を使っているのかしら。わたしたちの生活に、とても深く関わっているよね。

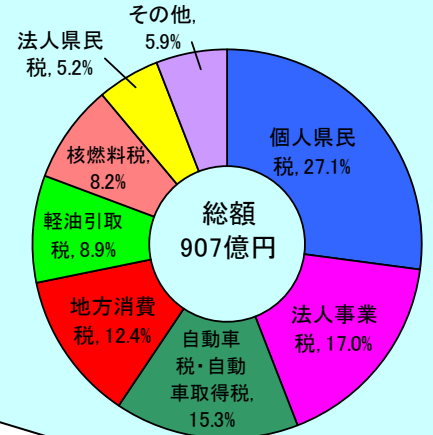
◎税金は大切な財源です。

福井県の県税収入額の推移



出典:平成22年度福井県歳入歳出決算の概要(県会計課)

福井県の県税収入額の内訳(平成22年度)



県税が少なくなると、どんな影響が出てくるのかな。

「統計」ってなんだろう？

◎統計って何だろう？

人、物、出来事などの集団について調べたり、集めたりした結果を集計・加工して「数」で表し、全体がよく分かるようにしたものを統計というんだよ。
統計は、身近なところでいろいろ使われているよ。



例えば、

- ・「**テストのクラス平均点**」 クラス全員のテストの点数 → 加工 → クラスの平均点
- ・「**平成〇年雪日数**」 平成〇年に雪などが観測された日の数 → 集計 → 雪日数
- ・「**アンケート結果**」 集めたアンケート → 集計 → アンケート結果

◎統計を表にすれば「統計表」、グラフにすれば「統計グラフ」のできあがり

睡眠時間（福井県内の公立学校）

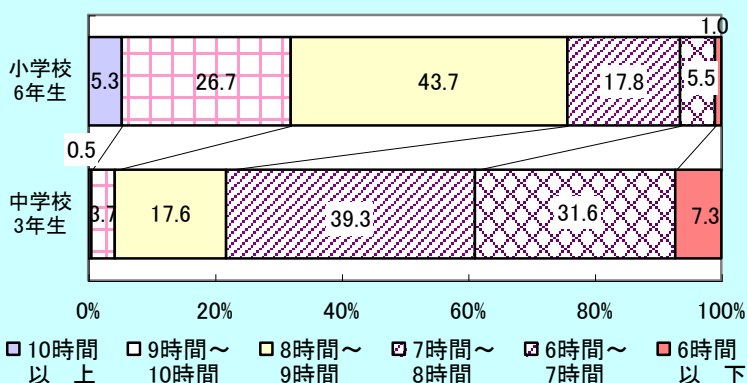
（単位：％）

	10時間以上	9時間～10時間	8時間～9時間	7時間～8時間	6時間～7時間	6時間以下
小学校6年生	5.3	26.7	43.7	17.8	5.5	1.0
中学校3年生	0.5	3.7	17.6	39.3	31.6	7.3

← 「統計表」



睡眠時間（福井県内の公立学校）



↓ 「統計グラフ」

統計は、数字で表されるから、比べやすいし、事実をとらえることができるね。
グラフは、どこが多いのかすぐに分かるので、わかりやすいね。



出典：平成22年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

◎統計から事実がみえるから、いろいろなところで利用されているよ。



統計は、どんなところで利用されているのかな？

国では、税金や健康保険、雇用保険の額を決める際の参考として利用しているよ。



家庭では、家計簿をつけて、お金がかかっているところを見直したりするのに使っているわ。



会社では、客の好みを把握するための市場調査や、工場での品質管理に利用しているよ。



統計グラフにはいろいろな種類があるよ！

◎ グラフには、①棒グラフ、②折れ線グラフ、③円グラフ、④帯グラフ、⑤絵グラフなどがあります。



グラフを作るときには、「何を比べるのか」、「何を伝えたいか」などを考えて、目的にあった統計グラフを使おうね。

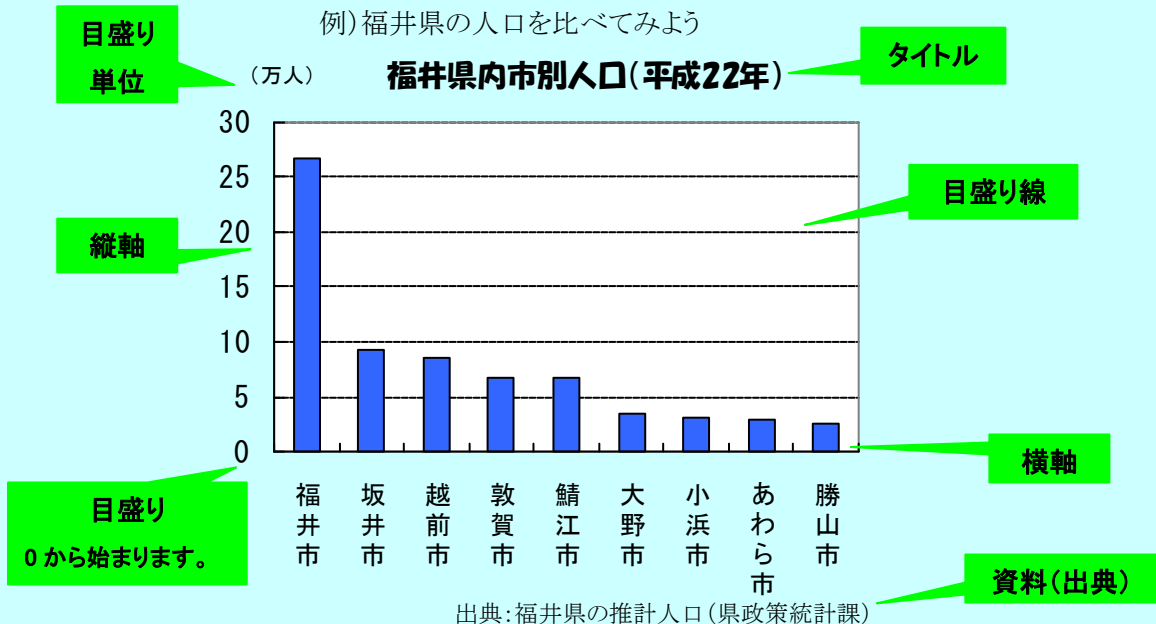
グラフを作るときは、
①グラフのタイトル
②目盛り、単位
③使った資料(出典)を
忘れずに書いてね。



① 棒グラフ

数量の差や大きさなどを表します

例) 福井県の人口を比べてみよう

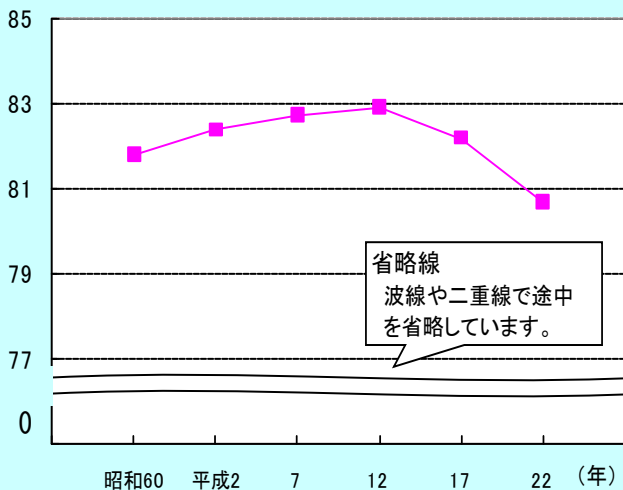


② 折れ線グラフ

時間の移り変わりによる変化を表します

例) 福井県の人口の変化を見てみよう

福井県の人口の移り変わり

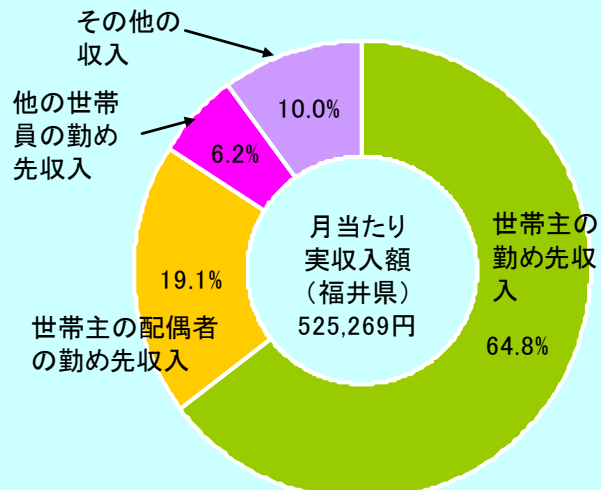


③ 円グラフ

全体の中でどれくらいあるかを表します

例) どのような収入がどの程度あるか、見てみよう

勤労者世帯の実収入の内訳(平成21年)

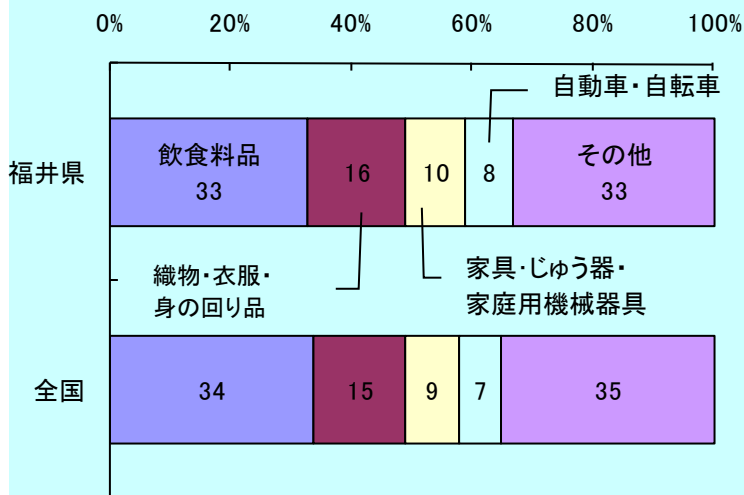


④ 帯グラフ

全体の中でどれくらいあるかを時間や分類で比べます。

例) 福井県と全国の小売業の事業所の割合を見てみよう

小売業の事業所数の割合 (平成19年)



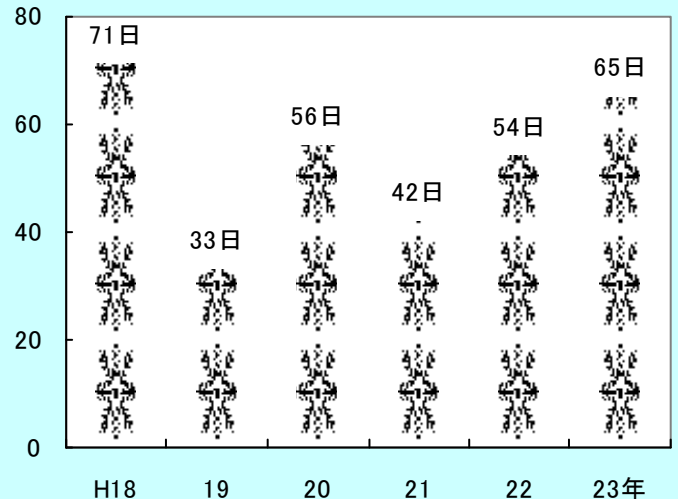
出典: 商業統計調査(経済産業省)

⑤ 絵グラフ

数量や大きさを絵を用いて表します

例) 雪の結晶1つを20日としたグラフを見てみよう

(日) 年間雪日数(福井市)



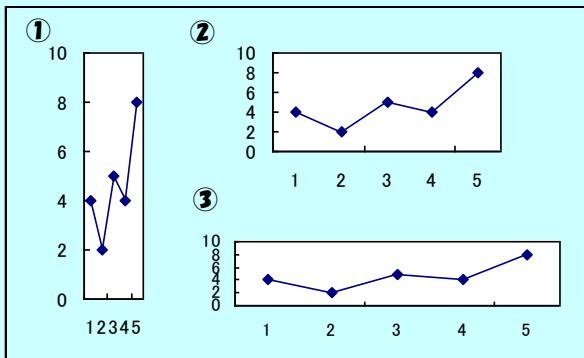
出典: 気象統計情報(気象庁)

ポイント



とおるくん、けいこちゃん、
下の3つのグラフから気づくことはない？

①は、数値の
変化が大きいグラフ
だと思うわ。



③は、数値
の変化があまり
ないグラフだ
と思うな。



3つとも同じデータのグラフなのよ！
同じデータなのに、目盛りのとり方
によって変化がゆるやかに見えたり、大き
く見えたりしているの。

本当だ！
横長だと変化が小
さく、縦長だと変化が
大きく見えるね。



同じデータでも、グラフの書き方によって印象が変わってしまうため、グラフを作るときは、
グラフから受ける印象が適正かどうか、誤った印象を与えていないか注意をしないといけな
いよ。

また、グラフを見るときは、数値同士の差だけではなく、目盛りに気をつけることも大事で
す。



総務省統計局のホームページには、楽しみながら統計を学べる統計学習サイトが掲載されているよ。

統計学習サイト

検索

<http://www.stat.go.jp/edu/index.htm>